明るい日田

No.1699
2025年
1月23日
発行者
日本共産党
西部地区
委員会
日田市中城町
6-29
TEL24-2145

発売中
900円

物価高給付金 住民税非課税世帯に3万円を支給

18歳以下の子どもに2万円を支給

日田市は、ガソリンなどの燃料代、電気料、食料品の値上がりの影響を受けた住民税非課税世帯に給付金3万円を支給します。財源は国の臨時交付金で、支給は3月中ごろを予定しています。

市は1月16日、物価高とう支援給付金を対象世帯に支給することを決めました。

給付金の支給対象は、①住民税非課税世帯（7700世帯）に3万円、②住民税非課税世帯の18歳以下の子どもひとりにつき2万円（850人）です。総額は2億5千万円で、3月中ごろから対象世帯の預金口座に振り込まれます。

市が2月中ごろから、対象世帯に給付金を受けとる預金口座を確認する書類を送ります。内容を確認し、市に返信すれば、給付金を受けとる手続きは終わります。市の問い合わせ先は、社会福祉課です。

財源は全額、国の重点支援地方交付金（低所得世帯支援枠）です。

これとは別に国から市に、使い道の自由度が高い交付金が約2億円入ってきます。市は、この2億円の使い道を決めていません。灯油を使っている世帯への給付、水道料金の減免、住民税の均等割のみ課税世帯への給付などに使えます。

物価高とう緊急要望 市民の暮らしと営業を守れ

市長に物価高への支援を要望する

「くらしと平和を守る日田地区連絡会」（代表・栗山崇氏）は1月21日、物価高とうから市民の暮らしと営業を守るよう日田市としての支援を求めました。大谷敏彰、日隈知重の両市議が参加しました。

▲ 市長に要望する「くらしと平和を守る日田地区連絡会」（1月21日、市長応接室）

会の代表の栗山崇氏は「ガソリン、灯油の異常な値上がりで、小規模な業者は営業がきびしい」と市長に訴え、市の支援を求めました。

緊急要望は、①高校生までの医療費の無料化、②水道料金の減免やガス、電気料金の助成、③国の給付金3万円に市が1万円加算、④均等割世帯に4万円の給付、⑤小中学校の体育館に冷暖房設備の設置です。文書で回答するよう求めました。

日田市２０歳のつどいが開催される

▶20歳のつどい実行委員会が企画した第2部のフィナーレは、参加者がラッドウィンプス「正解」を大合唱（1月12日、パトリア）

志位議長が語ったオンラインゼミ Q&A 共産主義と自由

～魅力と新しい解明あふれる～